

発熱、鼻づまり、咳

2005年12月26日(月)

4歳の女の子と1歳一ヶ月の男の子が来院。

女の子は発熱、鼻づまり、咳、風邪の初期症状で、対人関係や心配事が絡んでいた。

特にサンタさんのストレスは強いようだった。

治療後は症状も軽減された様子だった。

前回は耳下腺炎で腫れと圧痛を示していたが、治療後は痛みもなくなり、腫れも和らいで、一回の治療ですっかり良くなったとのことだった。

一歳の男の子はお母さんの心配事や飲み物なども絡んでいた。

子供のころからこのような本質的な治療を受けてもらうことで、病気とはなぜ起こるのか？どうすれば健康を維持できるのかも理解してもらいやすいだろう。

また、親御さんにも、ファミリーカイロでの本質的な検査、治療によって、なぜ子供が急に発熱したのかの原因を知ることがよくわかり、ただ単に薬で症状を抑えるのはよくないということも理解してもらいやすい。

子供が発熱や他の症状を引き起こすのは、子供だけの問題ではなく、常に関係があるのだということが良く理解してもらえる。

病気がちな子供たちのためにも早くこのような心身の本質を診る治療法が当たり前の社会になるように、この治療法を広めることができればと願う。